キャラクター名: アートルム

プレイヤー名:

種族	フィー	種族特徴	妖精の加護、浮遊		
生まれ	斥候	性別	女	年齢	14
冒険者Lv	5	経歴	異種族の友人がいる		
経験点	0		近所に芸術家が住んでいる		
			自分にそっくりな人物を知っている		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	9	器用度	7	2		18	3
		敏捷度	18	1		28 + 2	5
体	7	筋力	4	7		18	3
		生命力	2	4		13	2
心	12	知力	5	1		18	3
		精神力	10			22	3

技能	Lv.	技能	Lv.
グラップラー	5	アルケミスト	1
コンジャラー	4		
フェアリーテイマー	1		
スカウト	3		
セージ	2		
エンハンサー	1		

戦闘特技			
追加攻撃	220 p		p
投げ攻撃	225 p		p
鎧貫き	IB39 p		p
両手利き	IB32 p		p
防具習熟A/非金属鎧	IB31 p		p
マルチアクション	IB39 p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
ドラゴン語	○	
汎用蛮族語	○	
魔動機文明語	○	○
魔法文明語	○	○
妖精語	○	

練技/呪歌/騎芸/賦術	
キャッツアイ	
パラライズミスト	

名誉アイテム	点数

名誉点 所持 250 /合計 250

技能	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	5	8	10	8
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		ランク	必要筋力	回避力	防護点
鎧	リュンクスベスト		18	2	3
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					1
回避技能	グラップラー	合計値		12	5

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ハードノッカー グラップラー専用、パンチ強化、発動体加工	1H	5	1	2d+ 9	10	8	10										
スタンパー+1 グラップラー専用、キック強化、妖精の武器／雷	1H#	5		2d+ 8	10	9	20										
				2d+													

一般装備品	(消耗チェック)
スカウトツール	○□□○□□
宝石ケース	○□□○□□
妖精使いの宝石	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□

	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□

所持金 890 G

預金・借金 1000000 G

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	30 m	90 m

回避	防護点
2d+ 12	5

HP
28

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 5	2d+ 8

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 7	2d+ 8

MP
37

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
操霊魔法	4	7			
妖精魔法	1	4			

装備品	説明
頭	
耳	
顔	
首	
背中	
右手 疾風の腕輪	
腰 ブラックベルト	
足	
その他アルケミーキット	

装備品	説明
左手 疾風の腕輪	

その他メモ

●全体

黒髪黒目のフィーの少女、何故か妖精契約時も髪や瞳の色が変わらないため闇妖精と関わりがあると噂されていた。その事でべつに排斥されていたわけではないのだが、ある日いきなり集落を飛び出してしまう。どうも妖精魔法でなく操霊魔法や武術に興味があるあたり、かなり変わったフィーであるのは間違いないらしい。おそらくは伝承内の英雄に憧れたものと思われる。

そして人間の街で学院と道場に転がり込み、フィーの生徒は珍しいためか一躍人気者になった……のだが、それは容姿も関係していたらしい。黒髪黒目の神秘的な少女である上に、小柄な身体に相反するようなトランジスタグラマな体型。おまけに蹴り技使いとあって、邪な気持ちで近づいてくる輩が耐えなかったようだ。最もそういう連中は技の練習がてらに全て叩きのめされている。

結果、師匠から純粋に武術を極めたいのであれば男装しろ、と忠告されてその通り男の装いを初め、冒険者を初めて現在に至る。

そしてそろそろベテランの領域に足を踏み入れつつあったのだが、その時受けた依頼でとんでもないことに……。

名前はアートルムで通称アルム

自動失敗チェック

□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑮
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉟